

資料ふあいる

記録と史料 総目次 (第1号～第25号)

<第1号特集> 記録遺産を未来に－アーカイブズの世界－

号	頁	著 者	表 題
1	2	編集委員会	記録遺産を未来に－読者へのメッセージ－
1	6	安澤秀一	記録史料（アーカイブズ）－人類の遺産を守るために－
1	20	高橋 実	文書館への招待
1	32	平原日出夫	日本におけるビデオアーカイブズへの道程
1	43	坂本 勇	文書館・図書館資料の修復保存技術－世界の動向－
1	53	大藤 修	史料と記録史料学
1	73	編集委員会	アーカイブズを学ぶ－文献案内 Part 1－

<第2号特集> 記録史料の保存と保護

2	1	編集委員会	特集にあたって
2	5	原島陽一	史料保存の基本的課題
2	12	佐藤勝巳	文書館における記録史料の保存について－各地における文書館・資料館の報告を中心に－
2	27		座談会／“史料保存”の過去・現在・未来を語る
2	46	相沢元子	海外の動向－American Archivistの保存特集から－
2	49	金山正子	修復現場からみる史料保存

<第3号特集> 現代の記録をどう残すか－文書館への道程－

3	1	編集委員会	編集にあたって
3	5	戸島 昭	地方自治体の記録をどう残すか－文書館へのステップ－
3	12	竹澤哲夫	裁判記録をどう残すか
3	17	青山英幸	国会の記録見聞記
3	29	中村頼道・大谷明史 澤木武美・鈴木秀幸・	企業の記録をどう残すか－企業アーカイブズへの道－
3	35	中野 実・日露野好章・ 松崎 彰	大学史編纂と資料の保存－現状と課題－
3	44	内海 孝	史料の保存と公開－近現代史研究の立場から－

<第4号特集> 育てアーキビスト

4	1	編集委員会	特集にあたって
4	5	大和武生	過渡期における地方文書館の専門職問題－徳島県立文書館の経験から－
4	10	長倉美恵子	アーキビスト養成と図書館情報学教育
4	16	君塚仁彦	学芸員とアーキビスト
4	21	網野善彦	史料学の発展のために
4	26	石原一則	アーキビスト養成の歴史と課題
4	33	陳 兆祺	中国のアーキビスト教育
4	36	テオ・H.P.M. トマソン	オランダの文書館学教育
4	40	イレース・キング／カ ロール・クチュール	カナダにおける文書館学教育
4	47	パオラ・カルーチ	イタリアにおけるアーキビスト専門教育について
4	51	デビッド・B・グレーシー／ ウィリアム・D・コーリン	アメリカ合衆国におけるアーキビスト養成
4	57	アンジェリカ・メンネ ハリツ	ドイツにおけるアーキビスト養成－歴史研究の専門性と実務上の要 請とのバランス－
4	64	アン・サーストン	新しいアーキビスト養成プログラムの開発－関連分野の人材や知識 の活用に焦点を当てて－

<第5号特集> 記録遺産を守る－地域からの視点－

5	1	編集委員会	特集にあたって
5	4	辻川 敦	地域社会における文書館事業の役割～時代のニーズ、政策的位置付け～
5	13	神山英昭	史料保存で地域興しを～わたらせ川協会から～
5	22	立野 晃	房総史料調査会の活動について
5	32	中村誠司	沖縄の「字誌」づくり

<第7号特集> 市町村文書館の創造

7	1	編集・出版委員会	特集にあたって
7	4	佐藤勝巳	地域文書館の創造に向けて－特に市町村文書館創造への展望－
7	15	堀内謙一	基礎的自治体における公文書館設立のための序論
7	25	渡口善明	北谷町現用文書の流れより
7	40	工藤 宏	入間市博物館の文書館的機能導入の経緯 その現状と課題

<第8号特集> 阪神・淡路大震災と記録づくり

8	1	編集・出版委員会	特集にあたって
8	4	宮本 博	阪神・淡路大震災記録資料を未来へ伝える－震災記録を残すライブラリアン・ネットワーク－
8	12	佐々木和子	兵庫県の震災資料保存活動と今後の課題
8	21	貝塚 健	全国美術館会議の『報告』に、書かれていないこと
8	30	鳥野茂治	『阪神・淡路大震災にかかわる史料保存活動の記録』を通じての－考察－近畿圏の史料保存活動を取りまく環境について－
8	38	坂江 渉	歴史研究と市民の歴史意識－被災地神戸での歴史資料の救済・保存活動を通じて－
8	62	辻川 敦	阪神・淡路大震災による文書等所蔵施設の被害調査
8	72	伊藤 然	史料防災文獻目録について

<第9号特集> 公文書館法の10年－法・制度面からの検証－

9	1	辻川 敦	特集にあたって
9	4	佐藤弘文	公文書館の論理と文明社会の精神
9	14	渡辺佳子	文書館における個人情報の取り扱いを考える
9	31	小暮隆志・岡田昭二	群馬県立文書館における公文書館法の普及
9	43		〔座談会〕公文書館法成立の頃をふりかえる
9	63		〔インタビュー〕元国立公文書館長菅野弘夫氏に聞く－「公文書館行政にかかわって」－

<第11号特集> 世紀をこえるアーカイブズ

11	1	小暮隆志	世紀をこえるアーカイブズ 特集にあたって
11	4	小川千代子	公文書館の役割とアーカイブ政策－米国の事例－
11	13	木川りか	臭化メチル代替法をめぐる新しい保存技術

<第12号特集> 新設館が描く文書館像

12	1	太田富康	新設館が描く文書館像
12	7	平野俊幸	福井県文書館の設置経過について
12	14	小松芳郎	松本市文書館の事業と課題
12	22	三浦喜代	「板橋区公文書館」のこれまでとこれから
12	32	東 昇	城川町文書館と「館員」制度
12	39	西山 伸	「大学アーカイヴズ」を考える－京都大学大学文書館の設置－
12	45	菅 祥明	沈黙の背後にあるもの－「震災・まちのアーカイブ」という可能性－

<第15号小特集> コンピュータ技術によるアーカイブズ情報への接近

15	2	坂口貴弘	ブログを用いたアーカイブズ分野関連情報の共有
15	25	五島敏芳・丸島和洋・戸森麻衣子・村越一哲・岩熊史朗	アーカイブズの電子的検索手段の構築・表現
15	41	馬場幸栄	XML を利用した記録史料デジタル画像閲覧用 GUI の設計

<第18号特集1> ICA/SPA 京都会議－概要と意義、参加記－

18	18	数野文明	ICA/SPA 運営委員会全史料協交流レセプション－開催実行委員会事務局の報告－
18	25	藤 隆宏	ICA/SPA との交流レセプション参加記
18	26	村井友子	ICA/SPA 交流レセプションに参加して：メキシコのアーカイブズと公文書管理
18	29	野村晃子	2007年 ICA/SPA 運営委員会・全史料協交流レセプションに参加して

<第18号特集2> シンポジウム 未来への遺産－重要文化財「京都府行政文書」の保存と活用－

18	31	福島幸宏	シンポジウムの概要と意義－科研費研究の紹介も含めて－
18	34	柴田知彰	シンポジウム参加記
18	38	竹永三男	近現代史研究と近代行政文書の公開方法の課題－文書館への期待と要望－

<第19号特集>

19	17	長沢 洋	全史料協の会務執行体制はどのように変わるか
----	----	------	-----------------------

<第20号特集> 近畿部会第101回記念例会**全史料協近畿部会の活動成果と今後の展望－近畿部会例会100回を振り返って－**

20	34	安藤正人	日本のアーカイブズ50年－山口県文書館から公文書管理法まで－
20	41	和田義久	全史料協近畿部会のあゆみと、枚方市の史料保存と活用
20	48	阿部安成	コメント
20	49	島津良子	コメント

<第22号特集1> 東日本大震災と記録資料

22	1	福島幸宏	東日本大震災臨時委員会の活動について
22	3	岡田昭二・瀧沢典枝	宮城県女川町役場の被災公文書の救援－群馬県立文書館の活動報告－
22	9	田中洋史	新潟県長岡市における東日本大震災避難所資料の収集・保存

<第22号特集2> 公文書管理法の施行

22	14	西山 伸	公文書管理法と京都大学大学文書館
22	18	岩崎健児	鳥根県公文書等の管理に関する条例と鳥根県公文書センターについて
22	22	高下正晴	公文書管理条例の制定と安芸高田市の文書管理改善活動

<第23号特集> 自治体職員のみた資料レスキュー

23	1	広報・広聴委員会	特集にあたって
23	2	高橋良明	陸前高田市における被災公文書救出の受け入れについて
23	4	石黒伸一朗	東日本大震災・村田町における宮城歴史資料保全ネットワークの受け入れと文化財レスキュー
23	6	大栗行貴	福島県国見町における被災文化財の取り組みについて
23	8	糸川 崇	東日本大震災に遭った鹿嶋市龍蔵院の文化財－文化財レスキューの活動に救われて－
23	11	土佐博文	佐倉市における被災資料への取り組みについて－地元歴史研究会との協働－
23	13	金子聡子	国文学研究資料館の資料レスキューに参加して

<第24号特集> 公文書管理条例のいま

24	1	広報・広聴委員会	特集にあたって
24	2	山本雄二	宇土市文書管理条例とその後について
24	4	稲見唯睦	ニセコ町文書管理条例の理念と実務
24	7	門田 忍	草津市市政情報の管理に関する条例の制定について
24	10	山岸正男	小布施町の公文書管理条例と公文書館
24	13	太田富康	公文書管理条例と自治体アーカイブズ機関－条例等にもみる地域資料へのスタンス－

<第25号特集> アーカイブズの情報発信

25	1	広報・広聴委員会	特集にあたって
25	2	楠 久美	京都府立総合資料館のメールマガジン
25	5	柏原隆秀	東京都公文書館のフェイスブックとツイッター
25	8	岡田昭二・関口光代	群馬県立文書館における IT 化と WEB サイトの現状
25	11	山本明史	「山口県文書館所蔵アーカイブズガイド－学校教育編－」の取り組み
25	16	中村 修	『子ども文書館だより ふみくら』について
25	19	西村 豪	IT 担当職員の仕事

研究

2	52	富善一敏	近世村落における文書整理・管理について －信州高島領乙事村の事例から－
2	66	中野 等	文書館(史料館)における「展示」業務－柳川古文書館を素材として－
2	76	松井輝昭	下張り文書の保存と地域史研究
3	49	岡部真二	現地調査における史料整理の方法について －原秩序尊重・段階的整理の実践報告－
3	66	中野美智子	近世史料目録の標準化の問題点と課題－「日本目録規則1987年版」 第11章 非刊行物（第1次案）をめぐって－
3	81	中田佳子	『日本目録規則1987年版』第11章 非刊行物（第1次案）について
4	69	前田留実	地券紙の研究
5	40	神山知徳	下張り文書の整理について－茨城県牛久市本橋家文書の整理から－
5	53	竹林忠男	行政文書の整理と編成－史料整理基本原則の適用とその問題点－
6	1	山辺昌彦	戦争資料の収集・保存・公開と戦争博物館
6	8	佐藤正広	戦前日本の統計編成業務と行政資料
6	15	網野善彦	資料学の課題と展望
6	24	ブルース・W・ディアスタイン	アメリカ合衆国における州政府の記録・史料管理プログラム
6	32	青山英幸	イギリスにおける記録管理見聞記
6	52	豊田美香	阪神・淡路大震災における書架の被害報告－西宮市の場合－
7	50	マイケル・ガーネット・クック	情報化時代の文書館
8	106	渡辺英夫	地域史の研究と文書館－歴史史料の電子情報化に絡んで－
8	118	片岡法子	地域の課題と資料の保存－公害地域再生の取り組みから－
8	125	松井輝昭	中世の紙背文書の整理法をめぐって－厳島神社蔵反故裏経を素材として－
10	1	安藤福平	公文書の管理・移管・評価選別について
10	17	全史料協組織・法制委員会事務局	会則及び組織改正に関するアンケート調査報告
10	42	田中悦子	図書寮本の戦時疎開について－大窪太郎氏の聞き書きをもとに－
12	53	公文書の管理・移管・評価選別に関する研究プロジェクト・チーム	都道府県における文書管理 アンケートにみる現状と課題
13	1	太田富康	電子自治体の史料論
13	15	松本吉之助	地方自治体における文書管理の転換と当面の課題
13	19	伊藤 然	情報公開法と歴史的公文書－平成13年度国情報公開審査会答申からみた－
14	1	伊藤 然	歴史的公文書の非公開をめぐって－個人情報を中心に－
14	23	高橋 純	市町村合併の時代における行政文書のゆくえ －秋田県横手市と旧町村の事例－
16	1	松下 浩	史料目録の目的と構成内容－滋賀県下の史料目録作成の事例を中心に－
16	18	福嶋紀子	「全史料協の30年－新しい文書館像を求めて－」が提起したもの
17	1	丑木幸男	郡役所文書の構造と特質
17	14	小林年春	インターネット上の情報発信ツールの検討：「日本のアーキビスト」を例として
18	1	五島敏芳	日本におけるアーカイブズのオンライン総合目録構築にむけて
19	1	平松晃一	空間アーカイブズに向けて－EAD目録とPI地名辞典による試み
20	1	嶋田典人	香川県の市町村公文書の保存と管理－歴史的公文書を中心として－
20	16	山形佳恵	IPM（総合的有害生物管理）の取り組みと課題－滋賀県立琵琶湖博物館の事例から－
21	1	尾崎 晃	文書館展示を魅力あるものに－千葉県文書館の試み－
21	16	富田健司	地方公文書館における複合館の展開－芳賀町総合情報館を事例として－
22	28	清水恵枝	地方分権時代の文書管理
22	41	山本幸俊	学校統廃合と学校アーカイブズの保存－新潟県の事例を中心に－
23	16	久保庭 萌	レファレンスから、つながる－尼崎市立地域研究史料館におけるレファレンス・サービス発信の取り組み－

アーキビストの眼

1	98	青山英幸	再生紙の使用について
2	85	樋口雄一	朝鮮人強制連行の記録と文書館
4	86	梅村郁夫	文書館と基本的人権
5	79	石原一則	司法資料問題とアーカイブズ
6	59	辻川 敦	被災史料救済活動の教訓－阪神・淡路大震災の経験から、われわれは何を学ぶべきか－
7	61	毛塚万里	アーキビストと通信ネットワーク－日本における現況－
9	76	小川千代子	アーカイブズ／情報公開／文書管理 平等閲覧からアカウントビリティへ
11	31	豊見山和美	階層性を意識した公文書目録の作成
11	37	鎌田和栄	公文書館の国際化と史料記述標準化問題について－21世紀にあたり公文書館・アーキビストは何をしていくべきか－
13	36	Chuluun Oyunchimeg ／嶺井優香訳	モンゴル国立公文書館
14	53	福岡紀子	文書館像は変化したか
14	61	上岡克彦	第29回全史料協全国大会に参加して－これからの全史料協のあり方を考える－
15	78	鈴江英一	内閣府「公文書等の適切な管理、保存及び利用に関する懇談会」報告書『公文書等の適切な管理、保存及び利用のための体制整備について－未来に残す歴史的文書・アーカイブズの充実に向けて－』を読んで
16	32	小松郁夫	古文書の調査・保存と木村礎先生－神奈川県史編さんから公文書館への過程で－
16	37	清水善仁	－初学者のアーカイブズ学への視点－国文学研究資料館史料館編『アーカイブズの科学』（上・下）を読んで－
19	35	菅 真城	ポスト年史編纂でない大学アーカイブズの設立－大阪大学文書館スタートのために－
19	48	折井美耶子	史料保存利用問題シンポジウムに参加して
22	59	玉川絃子	平成23年度公文書館機能普及セミナー in 沖縄／公文書講演会「公文書管理の現場から－いま、私たちができること」開催記録
22	64	毛塚万里	国際シンポジウム参加記 改組とアーカイブズ／アーキビストのスキル
23	30	串間聖剛・佐藤絃一	公文書館機能普及セミナー in 佐賀 参加記
23	34	長谷川伸	史料保存ネットワークとしての史料協を考える－山本幸俊氏の活動と遺産に学ぶ－
24	30	西澤直子	慶応義塾史資料集第1巻『塾員塾生資料集成』を刊行して
24	34	片倉日龍雄	佐賀県公文書館への歩み－1人の地域史研究者の願いが実現するまで－
24	38	小川正人・平塚理子	公文書館機能普及セミナー2013 in 北海道 自治体アーカイブズのすすめ ～仕組み作りのための理論と実例～
25	27	下向井祐子	「土砂災害で被災したアルバム・写真への対処法（手引き）」を作成して

世界の窓

1	101	小川千代子	ジャン・ファビエ ICA 会長の来日
1	102	小川千代子	第26回 CITRA (ICA 円卓会議) に参加して
1	105	松村光希子	ブリティッシュ・カウンシル主催国際アーキビスト研修会に参加して
1	108	安藤正人	オーストラリア・アーキビスト協会からのたより
1	109	水口政次	第8回 SARBICA (ICA 東南アジア地域部会) 総会に参加して
2	106	上原樹代	ソロモン諸島の国立公文書館
2	109	畑中佳子	タイ国立公文書館を訪ねて
2	112	阿部 昭	第二次全史料協友好訪中団に参加して
2	115	安澤秀一	テレビライブラリー国際機構 (FIAT) 東京総会に参加して
3	106	ファン・ディン・ニヤム ／今村宣勝訳	ベトナムにおける文書保存組織と今日の緊急課題
3	109	高橋 実	韓国の政府記録保存所を訪ねて
3	113	小川千代子	30年原則のこと
4	104	青山英幸	ブリティッシュ・カウンシル主催 マイケル・クック監修 国際セミナー「史料と記録の管理－新技術と実際－」参加記
4	108	水野 保	北欧の文書館
5	96	鶴田小百合	カナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学のアーキビスト養成課程
5	99	新 云峰	中国档案学会の成立と発展
6	93	木村有見	4世紀の仏教文化を伝える敦煌－敦煌遺書档案国際シンポジウム参加記
6	97	高橋 啓	中国の文書保存と档案馆
7	108	高橋益代	「旧外地」行政文書についての調査報告
7	118	安藤正人	マイケル・クック北海道セミナー
8	187	金 才淳	韓国における記録保存制度の歴史と課題

8	195	浅古 弘	アメリカにおける州裁判所記録の管理－マサチューセッツ州の事例
8	203	安藤正人	戦争と史料－マレーシアの文書館を訪ねて－
10	102	水口政次	等身大の英国地方文書館の活動－英国地方文書館の見学記－
10	107	高橋益代	台湾総督府文書の公開進む
12	124	森田貴之	アメリカの地方文書館事情－地方歴史協会の視点から－
13	65	齋藤佳郎	ハンブシャー州立文書館を訪問して
17	49	李 晃龍	韓国のアーカイブズ事情－専門要員の養成及び配置を中心に－
18	41	青木富貴子	わたしと米国公文書館
19	22	藤吉圭二	第38回国際社会学機構世界会議参加記 レギュラーセッション 'Archives, Accountability, and Democracy in the Digital Age' を終えて
19	27	吉田千絵	ICA2008年クアラルンプール大会参加記
19	31	小高哲茂・阿久津聡	韓国アーカイブズの最近の動向から－ナラ記録館開館と記録資料の活用－
20	53	清水恵枝	アメリカンアーキビスト協会2009年大会参加記
20	60	佐々木和子	第41回 CITRA (国際文書館評議会円卓会議) マルタ大会報告
21	29	藤吉圭二	ハンガリー国立アーカイブズ(National Archives of Hungary)訪問記
21	31	佐々木和子	第10回 EASTICA (国際公文書館会議東アジア地域支部) セミナー 及び IACE2010 (国際アーカイブ文化展示会) 参加報告
21	34	佐々木和子	第42回 CITRA (国際文書館評議会円卓会議) オスロ大会報告
22	68	大西 愛	シニア・アーキビストの海外ボランティア活動
22	72	小川千代子	英国・アイルランドアーカイブと記録協会年次大会 ARA&ICA/SPA エジンバラ国際会議2011「アーカイブと記録の戦略的普及－21世紀、この専門職域のインパクト－」参加報告
23	38	佐々木和子	第17回 ICA (国際文書館評議会)世界会議ブリスベン大会 参加報告
23	46	白井哲哉	第17回 ICA (国際文書館評議会) ブリスベン大会地方文書館部会 (SLMT)参加記
25	32	巽 由佳子	ゴードン W. プラング文庫－由来・発展・展望－

アーカイブズネットワーク

2	97	青山英幸	北海道立文書館の開館 5 周年記念事業
2	97	大堀民夫	浦和市における文書館へのステップ
2	98	太田富康	埼玉協会の名称変更と今後の展望
2	98	伊藤泉美	横浜開港資料館の上海市関係機関との学術交流について
2	99	高橋 実	茨城県市町村史編さん連絡協議会について
2	99	(埼玉新聞より)	久喜市、公文書館建設費を計上
2	100	(埼玉新聞より)	埼玉県大宮市で公文書館構想がまとまる！
2	100	坂井正美	神奈川県立公文書館(仮称)の設立に向けて
2	101	大西 愛	兵庫県の状況
2	101	立花秀浩	文書館建設に向かって－和歌山から－
2	102	浜崎洋三	鳥取県立公文書館の開館
2	102	藤丸 昭	徳島県立文書館の開館
2	103	中野美智子	池田家文庫のマイクロ化事業
2	103	土谷和之	大分県における公文書館設立への動き
2	104	小暮隆志	第 2 回資料保存シンポジウム参加記
2	105	金城 功	公文書館についての沖縄県の動向
3	96	金城 功	沖縄県立公文書館基本構想なる
3	97	屋良奉子	沖縄県北谷町公文書館の設置
3	97	野中寛文	香川県の文書館開設準備本格化
3	98	柚山俊夫	愛媛における史料保存の現況
3	98	松井輝昭	広島県「行政文書・古文書保存管理講習会」紹介
3	99	人見彰彦	岡山県の資料整備状況
3	100	大西 愛	大阪府公文書館問題検討小委員会の設置
3	100	小平千文	長野県立歴史館設立準備とその文書館機能の位置付け
3	101	本田雄二	新潟県立文書館の開館に向けて
3	102	安藤正人	ビジネスアーキビスト養成講座の開設
3	102	廣瀬 陸	「記録史料の保存を考える会」旗揚げ
3	103	堀江武史	「神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会」の発足
3	103	蛭田廣一	小平市の郷土写真事業
3	104	水野 保	東京都公文書館のマイクロ・プロジェクト始まる
3	104	山本直彦	財団法人千葉県史料研究財団の設立
3	105	小玉誠一郎	秋田県の公文書館設立について
4	77		大田沖縄県知事に聞く－理想高い沖縄県公文書館(仮称)－
5	66	佐藤 宥	道自治体史協について
5	67	鈴木 旭	函館日口交流史研究会について
5	68	寿松木 毅	秋田県公文書館書庫異聞 “百聞は一見に如かず”
5	69	加藤民夫・熊田亮介・越中正一	公開シンポジウム「歴史資料の保存をめぐる」の開催

5	69	堀内謙一	久喜市公文書館の現状
5	70	松村光希子	第4回資料保存シンポジウムの開催
5	72	安澤秀一	情報資源としての記録史料-駿河台大学文化情報学部におけるレコード・アーカイヴズコース-
5	73	吉田義治	東海北陸地区公文書等保存利用事務協議会の設立の経緯と活動状況
5	74	小田康徳	関西における司法資料保存運動
5	75	西川良三	財団法人西川文化財団の紹介
5	75	藤川永子	道修町文書保存会とその活動
5	76	立花秀浩	和歌山県立文書館開館
6	65	渡口善明	名護市の中間保存庫
6	66	石川久男	香川県立文書館の活動一年
6	67	橋本政幸	中国地区文書館等職員連絡会議の設立と活動
6	67	小平千文	開館した長野県立歴史館-文献史料課を中心に-
6	69	小川雄二郎	ICA 防災委員会
6	70	伊藤 然	第3回企業史料協との合同研究会の開催
6	71	中村節子	第1回アート・ドキュメンテーション研究フォーラム「美術情報と図書館」
6	72	石原一則	関東司法資料保存研究会について
6	74	酒井麻子	第2回記録史料の保存・修復に関する研究集会の開催
6	75	新井 勉	図書館・文書館における資料保存フォーラムの開催
6	76	井村哲郎	国際学術セミナー「中国東北地域をめぐる史料の諸相」
6	77	新井浩文	埼玉協20周年記念「地域史料保存シンポジウム」の開催
6	78	松本昭雄	ワロー ICA 会長来日講演参加記
6	79	村越一哲	FID/ARM(Archives and Records Management)の開催
7	73	瀧本壽史	青森県史編さん市町村連絡会議の設置経緯
7	74	渡辺英夫	秋田県歴史研究者・研究団体協議会の発足
7	75	江田郁夫	栃木県立文書館の市町村歴史的公文書等保存状況調査について
7	76	樫村 毅	文書整理保管庫の建設 茨城県立歴史館
7	77	高橋 覚	千葉県史料保存活用協議会設立
7	78	政井陽子	角竹郷土史料文庫目録の刊行-文書館としての高山市郷土館-
7	79	山口拓史	名古屋大学史料室の開設
7	81	稲川明雄	新潟県歴史資料保存活用連絡協議会報「新史料協だより」の創刊について
7	82	馬場義弘	史料ネットの活動について
7	83	世良浩志	震災資料・記録の収集~21世紀ひょうご創造協会の取り組み~
7	84	渡辺 保	『大分県公文書館』この一年
7	85	山村一衛	熊本県における古文書解読リーダー養成講座の開催
7	86	久部良和子	沖縄県公文書館の設立
8	143	平田輝明	小山市の文書館設立運動について
8	146	甲州史料調査会	甲州史料調査会の活動について
8	147	神保和男	戸倉古文書館の設立運動について
8	148	伊藤一億	新史料協「研修会」について
8	149	山本幸俊	「越佐歴史資料調査会」の結成について
8	150	蔵 国晴	石川県公文書館建設期成会の活動
8	151	大崎正雄	「門戸の歴史を守る会」について
8	152	木村修二	宝塚の古文書を読む会
8	153	竹永三男	島根県の公文書館設立運動
8	155	山崎一郎	山口県文書館古文書活用講座の紹介
8	156	柚山俊夫	愛媛の史料保存運動の動向
8	157	二宮正博	福岡市総合図書館の開館
8	158	富善一敏	天草史料調査会の旗揚げ
9	91	佐々木和子	震災資料・記録保存問題について
9	92	小松芳郎	市史編さんの完了と文書館の設立
9	94	辻川 敦	歴史資料ネットワークによる阪神・淡路大震災被災史料の整理・活用
9	96	武田正志	国立公文書館つくば分館の建設
9	98	佐々木清人	租税史料館リニューアルオープン
9	99	水口政次	東京都足立区文書管理システムについて
9	100	伴瀬晃男	神奈川県立公文書館における専門職員の確保と処遇方針について
9	102	達脇明子	あおぞら財団「大気汚染公害被害者・住民運動の記録資料の保存活動」
9	104	藤本裕三	兵庫県浜坂町の歴史資料保存への取組
9	105	斎藤典生	地域史を紡ぐ手づくり情報紙
9	106	吉田千絵	ブリティッシュ・カウンシル国際セミナー参加記
9	108	細井 守	記録管理学会の活動
9	110	伊東謙助	静岡県歴史文化情報センターの設立
10	68	中道敏夫	水害被災資料の修復作業について
10	70	五十嵐勲	大間々町文書館(仮称)の設置について
10	71	鈴木一哉	「関東圏における都道府県史料協の会報発行状況について」
10	74	轟 洋子	旧源村役場文書の閲覧に向けて
10	76	幕田兼治	公文書館専門職員養成課程を実施して

10	78	執行謙二	日本銀行アーカイブの発足について
10	80	櫛田和幸	相模川以西市町史編さん連絡協議会の活動について
10	82	梅原康嗣	長野県史料保存活用連絡協議会の設立にむけて
10	83	北泊謙太郎	史料ネットの取り組み状況
10	86	柚山俊夫	愛媛県城川町文書館開館記念研修会の開催
11	49	藤井典子	『日本銀行所蔵銭幣館古文書目録』の刊行と史料公開について－貨幣博物館の現場から
11	54	高野 修	情報保存研究会について
12	69	千代田光雄	三郷市史収集史料の公開に向けた史料保存の取り組みと課題
12	73	数野文明	広島県因島市の文書管理について
12	75	遠藤 康	国立公文書館をめぐる近年の動き－国立公文書館法と移管・公開基準について－
12	77	高森邦男	富史料協の動向について
12	79	太田富康	オープン・セミナー「記録史料(アーカイブズ)の情報管理をめぐる国際動向」の開催
12	80	大国正美	兵庫県加古川市の史料登録制度
12	83	伊藤一億	『公文書保存の手引き』の作成を中心とした新史料協の活動について
12	85	浜田弘明	相模原市史編さん室の開設について
12	87	佐々木和子	震災資料調査事業の取り組み
12	88	神谷 智	公開シンポジウム『開かれた大学』とこれからの文書資料管理・情報公開
12	90	小松芳郎	鳥取県西部地震・芸予地震後のアーカイブズ・ネットワーク－全史料協資料保存委員会研修会に向けて－
13	40	古庄秀樹	小城町立歴史資料館について
13	41	牟田昌平	歴史事実の相互確認を目指して：アジア歴史資料センターの実験
13	45	定兼 学	岡山県の文書館準備について
13	48	大西 愛	〔報告〕シンポジウム 公害・環境問題資料の保存・活用ネットワークをめざして
13	50	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 資料室	人と防災未来センターにおける震災資料の保存と活用
14	68	別宮博明	「市町村合併と行政文書の保存」学習集会の開催
14	69	出合純子	小矢部市総務課公文書史料室の設置経緯について
14	71	徳中毅成	武蔵野市の歴史資料館構想について
14	73	榎島京子	「横河アーカイブズ」設立の経緯について
15	86	鈴木律子	「千葉県文書館フェア」の開催
15	88	武井 尚	埼玉協30周年記念事業の開催について
15	90	一木和世	熊本市歴史文書資料室の開設まで
15	92	谷口知司	岐阜女子大学におけるデジタル・アーキビストの養成について
15	94	長谷川伸	災害と資料保存活動の課題－新潟県中越大地震を中心に－
16	49	高木秀彰	寒川文書館の開設にむけて
16	52	八日市谷哲生	「国立公文書館デジタルアーカイブ」のご紹介
16	55	横山 定	岡山県立記録資料館のホームページと資料検索システムについて
16	57	岩杉大輔	デジタルアーカイブ・システムの開発について
17	33	山本幸俊	上越市史編さん事業から公文書館準備室へ
18	45	平田輝明	市民運動の結実－小山市文書館の開館－
18	49	佐藤喜好	磐田市歴史文書館の開館について
18	53	木村克美	分子科学研究所・史料編纂室の現状－3年目を迎えて－
18	56	木村一枝	核融合科学研究所核融合アーカイブ室
18	60	平野明夫	地方史研究協議会シンポジウム「歴史資料保存利用運動のなかの公文書館法－その理念と現実－」
19	52	野田寿一	記録を伝える・・・長野市公文書館の概要
19	55	富田健司	芳賀町総合情報館の開館－文書館機能を中心に－
19	58	関本美知子	KEK 史料室－自然科学系分野におけるアーカイブズとは－
19	61	小川 雄	日本大学総務部大学史編纂課の概要
19	65	針谷武志	別府大学アーカイブズ・センター－大学アーカイブズの役割とは？－
20	63	佐藤勝巳	戸田市アーカイブズ・センターの開設－ひとつの試みとして－
20	65	谷合佳代子	大阪市エル・ライブラリー
21	38	永島 靖	海老名市立歴史資料収蔵館の開館について
21	40	竹内伸行	富山市公文書館開館－経過と今後の諸課題－
21	43	森本祥子	「公文書管理の新地平－法と実践－」セミナー(公文書館機能普及セミナー in 高知) セミナーの概要
21	45	徳橋正人	「公文書管理の新地平－法と実践－」セミナー(公文書館機能普及セミナー in 高知) 開催を終えて
22	78	三輪宗弘・折田悦郎	九州大学大学院「ライブラリーサイエンス専攻」について－記録管理・アーカイブに大いなる夢を託して－
22	82	桜井昭男	淑徳大学アーカイブズの開館
22	85	大城 博	歴史的公文書の保存・活用に係る大分県と市町村との連携・支援について

22	87	辻川 敦	レファレンス協同データベースへの参加
23	51	桑尾光太郎	学習院アーカイブズの設立と課題
23	53	吉田徹也	福岡共同公文書館開館の意義について
23	56	松下師一	「歴史資料保全ネットワーク・徳島」の発足に寄せて
23	59	庄司明由	ふるさと府中歴史館の概要と公文書館機能
23	62	五島敏芳	京都大学研究資源アーカイブの活動
24	43	小川智瑞恵	重要文化財になった「東京大学史関係資料」
24	46	横山民夫	神戸アーカイブ写真館について
24	48	寺門雄一	デジタルデータを活用した自治体史－品川区史の試み－
24	50	戸嶋 明	秋田県公文書館20周年記念事業について
24	53	徳野 隆	中国・四国地区文書館等職員連絡会議の取り組み
24	55	福島幸宏	京都府立総合資料館創立50周年記念事業
24	57	白井哲哉	福島県双葉町役場が保有する東日本大震災関係資料の保全について
25	36	藤田理子	太宰府市公文書館の開館
25	38	藤谷 彰	三重県総合博物館の公文書館機能について
25	40	中村昌宏	相模原市立公文書館の開館
25	43	中村 修	市民アーカイブ多摩の目指すもの
25	45	高村恵美	常陸大宮市文書館の開館
25	47	伊藤 康	歴史資料保存事業と資料修復ワークショップ

書評と紹介

1	90	戸島 昭	鈴江英一著『開拓使文書を読む』
1	93	富井康夫	埼玉県市町村史編さん連絡協議会編『地域文書館の設立に向けて』・『行政文書の収集と整理』
2	88	青山英幸	岡本達明・松崎次夫編『開書 水俣民衆史』全5巻
2	92	佐藤勝巳	黒田俊雄編『村と戦争－兵事係の証言－』
2	92	渡邊尚志	多摩市教育委員会編『多摩市史関係所在文書目録1』
2	93	土方苑子	東京都公文書館編集・発行『東京都公文書館所蔵行政文書目録・学事編 明治30－31年』
2	93	丑木幸男	地方史研究協議会編『歴史資料保存機関総覧 [増補改訂版]』
2	94	高橋 実	東敏雄編著『聞きがたり農村史Ⅰ～Ⅲ』
2	94	大藤 修	日本歴史学会編『概説 古文書学 近世編』
2	95	大藤 修	『週刊朝日百科 日本の歴史別冊 歴史の読み方 全10巻』
2	95	小川千代子	総務庁行政管理局監修『情報公開 制度化への課題－情報公開問題研究会中間報告－』
2	96	佐藤勝巳	小宮英俊著『おもしろい紙のはなし』
3	85	渡辺典子	千葉県文書館編『諸家文書目録1 収蔵文書目録第4集』
3	85	長佐古美奈子	東京学芸大学近世史研究会・北区史編纂調査会近世史部会・北区教育委員会『北区西ヶ原在住武田允男家伝存文書群調査報告書(上) [文化財研究紀要 第5集]』
3	86	大貫真理	日の出町史編さん委員会編『日の出町史料所在目録第4集』
3	86	保坂裕典	藍住町教育委員会編『阿州藍屋奥村家文書 全五巻』
3	87	渡辺浩一	高知県教育委員会編『高知県歴史資料調査報告書 土佐藩主山内家歴史資料目録』
3	87	佐藤勝巳	国文学研究資料館史料館編『近世・近代史料目録総覧』
3	88	小川千代子	国立公文書館編『地方公共団体における公文書等の保存、利用等に関する実態調査、平成元年12月末日現在<都道府県・指定都市>』
3	89	小川千代子	国立公文書館編『公文書等の集中管理－保存・利用のための移管の重要性について－』
3	89	宮沢健二	埼玉県地域史料保存活用連絡協議会編『地域文書館の設立に向けて 3 諸家文書の収集と整理』
3	90	太田富康	ケン・ブラマー著『生活記録の社会学－方法としての生活史研究案内－』
3	91	丑木幸男	津田秀夫著『史料保存と歴史学』
3	91	大友一雄	青木美智男・佐藤誠朗編著『近世史への招待 [講座日本近世史10]』
3	92	安藤正人	インドネシア日本占領期史料フォーラム編『証言集－日本軍占領下のインドネシア－』
3	93	木村立彦	鈴木昭夫他著『研究者のための資料写真の撮り方』
3	93	水口政次	京藤松子他著『図書館員のための英会話ハンドブック－海外旅行編－』
3	94	小川千代子	Helen Ford 著『The education of staff and users for the proper handling and care of archival materials: a RAMP study with guidelines (文書館の職員と利用者のための史料取扱いの作法)』
3	94	廣瀬 睦	国立国会図書館編『新聞の保存と利用 第2回資料保存シンポジウム講演集』
3	95	森 県	相沢元子他著『容器に入れる－紙資料のための保存技術－ [シリーズ 本を残す③]』
4	90	山本幸俊	牛久市史編さん委員会編『牛久市小坂・斎藤家文書概要調査報告書』

4	94	高橋益代	三菱製紙株式会社管理本部総務部社史編纂室編『三菱製紙資料目録(創業～昭和40年)』
4	95	君塚仁彦	学習院大学史料館編『学習院大学史料館所蔵史料目録第九号 武蔵国秩父郡上名栗村町田家文書(二)』
4	95	渡辺佳子	山口県文書館編『山口県文書館蔵行政資料目録-1940年代・1950年代-』
4	96	神山知徳	国立歴史民俗博物館・資料委員会編『国立歴史民俗博物館所蔵資料目録1 石見国邇摩郡福光下村福富家文書目録』
4	97	樋口雄彦	白河市歴史民俗資料館編『白河市歴史民俗資料館資料目録 第2集 広瀬典探訪書写文書』
4	97	小川千代子	外務省外交史料館編『外交史料館所蔵外務省記録総目録戦前期』
4	98	渡辺浩一	道修町文書保存会編『道修町文書目録-近世編-』
4	98	大西 愛	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会編『第2回文書館振興国際会議 ケスケメティ博士来日記念報告書-アーキビスト養成の国際潮流-』
4	99	君塚仁彦	小玉正任著『公文書が語る歴史秘話』
4	100	高橋 啓	秋田通子他編『記録史料を守るために-「記録史料保存に関する講演会」記録集-』
4	101	松方冬子	研究代表者・東京大学史料編纂所教授加藤秀幸編『近世幕府文書の古文書学的研究 平成三年度科学研究費補助金研究成果報告書』
4	101	宮瀧交二	伊藤寿朗著『市民のなかの博物館』
4	102	幅 大	L.A. ザイコルマン・J.R. シュロック編『博物館の防虫対策手引き』
4	103	幅 大	半澤重信著『博物館建築-博物館・美術館・資料館の空間計画-』
5	83	大友一雄	岡山大学附属図書館編『岡山大学附属図書館蔵 池田家文庫 藩政史料マイクロ版集成』
5	85	日露野好章	お茶の水女子大学女性文化研究センター編『湯浅年子資料目録』
5	86	高木秀彰	貝塚市教育委員会編『和泉国南郡福田村福原家文書目録』
5	86	菊池保男	日本福祉大学知多総合研究所編『尾張国知多郡内海・内田佐七家文書目録』
5	87	山崎一郎	永富家文書調査会編『永富家文書目録』
5	88	渡辺佳子	山口県文書館編『山口県文書館蔵行政文書目録-1940年代完結簿冊目録-』
5	88	西田かほる	吉田伸之・渡辺尚志編『近世房総地域史研究』
5	89	丑木幸男	西垣晴次先生退官記念論文集編集委員会編『西垣晴次先生退官記念論文集宗教史・地方史論集』
5	90	新井浩文	鈴木英治著『シリーズ本を残す4 紙の劣化と資料保存』
5	91	田辺敏子	アンソニー・ケインズ、パウル・シーアン、キャサリン・スウィフト著『シリーズ本を残す5 「治す」から「防ぐ」へ西洋古刊本への保存手当て』
5	92	山崎尚之	波多野宏之著『画像ドキュメンテーションの世界』
5	93	堀内謙一	中国科学出版社『現代中国の檔案事業』
5	94	山田哲好	学習院大学史料館編『旧華族家史料所在調査報告書』
6	80	山田尚彦	「記録史料の保存・修復に関する研究集会」実行委員会編『記録史料の保存と修復-文書・記録を未来に遺す-』
6	82	石倉光男	安江明夫・木部 徹・原田淳夫編著『図書館と資料保存-酸性紙問題からの10年の歩み-』
6	83	本田雄二	国立国会図書館編『資料保存とメディアの変換-マイクロフォーム化を中心に-第4回資料保存シンポジウム講演集』
6	84	伊藤 然	野口靖夫著『文書の危機管理と災害対策-紙・マイクロフィルム・光ディスクをどのように守り、救済するか-』
6	84	保坂裕興	ミシェル・デュシャン解説『LES BÂTIMENTS ET LES ÉQUIPEMENTS D'ARCHIVES/ARCHIVES BUILDINGS AND EQUIPMENT 文書館の建築と設備 ICA(国際文書館評議会)教育・養成部門教材シリーズ1』
6	85	亀岡哲也	埼玉県地域史料保存活用連絡協議会編『地域文書館の設立に向けて4 地域史料の保存と管理』
6	86	内田文恵	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会編『全国歴史資料保存利用機関連絡協議会機関会員総覧 JSAI データブック '94』
6	87	細井 守	作山宗久著『文書のライフサイクル』
6	88	吉田千絵	藤沢市文書館編『20周年記念 文書館 業務と利用案内』
6	89	江島 香	朝尾直弘編『岩波講座・日本通史別巻2 地域史研究の現状と課題』
6	89	安藤正人	清水元編『英国立公文書館の日本・東南アジア関係史料(文献解題36)』
6	90	所澤 潤	中京大学社会科学研究所台湾総督府文書目録編纂委員会編『台湾総督府文書目録』
6	91	中武香奈美	外務省外交史料館編『外交史料館所蔵外務省記録総目録[戦前期]全3巻(別巻を含む)』
6	92	富善一敏	田中家文書調査会編『愛媛県宇和島市三浦田中家文書目録』
7	89	松尾正人	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会編『日本の文書館運動-全史料協の20年-』
7	90	御手洗 清	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会関東部会編『文書館学文献目録』

7	91	大国 正美	高野修著『地域文書館論』
7	93	大口里子	MUSEUM KYUSHU 編集委員会編『特集アジアの文書館 MUSEUM KYUSHU』
7	93	水野 保	国文学研究資料館史料館編『史料館収蔵史料総覧』
7	96	佐々木 徹	茨城県立歴史館史料部史料室編『史料利用の手引』
7	97	坂田 聡	網野善彦著『日本中世史料学の課題－系図・偽文書・文書』
7	98	御厨義道	朝尾直弘他編『岩波講座日本通史別巻3 史料論』
7	99	渋谷葉子	和泉市教育委員会編『旧和泉郡黒鳥村関係古文書調査報告書－現状記録の方法による－』
7	100	蛭田廣一	国立国会図書館編『資料保存シンポジウム・5 図書館資料の共同保存をめぐる－現状と展望－ 第5回資料保存シンポジウム講演集』
7	101	吉岡栄美子	久米康生著『和紙文化辞典』
7	102	新井浩文	日本写真学会画像保存研究会編『写真の保存・展示・修復』
7	103	伊藤 然	日経アート編『美術品を10倍長持ちさせる本』
7	104	武井達夫	尼崎市立地域研究史料館編『尼崎地域史事典』
7	104	松井輝昭	河音能平編『中世文書論の視座』
7	105	青木 睦	富田正弘研究代表『古文書料紙原本にみる材質の地域的特質・時代時変遷に関する基礎的研究－平成6年度科研費補助金研究成果報告書－』
7	106	日露野好章	千葉県史料研究財団編『千葉県地域史料現状記録調査報告書 第1集』
8	160		安藤正人・青山英幸編著『記録史料の管理と文書館』合評会記録
8	169	中村光夫	高橋実著『文書館運動の周辺』・『自治体史編集と史料保存』
8	172	柴田容子	門倉百合子編著『はじめて学ぶ文書管理 レコード・マネジメント入門』
8	173	川俣正英	佐藤義信編『廣江家の歴史』
8	174	今井規雄	小川雄二郎監修『図書館・文書館の防災対策』
8	175	植山 淳	小川千代子著『情報公開の源流－30年原則とICA－』
8	177	白井哲哉	三多摩郷土資料研究会編『新編武蔵風土記稿索引』多摩の部
8	178	堀内謙一	石上英一著『日本古代史料学』
8	180	田島光男	河音能平著『世界史のなかの日本中世文書』
8	181	丑木幸男	伊奈町史編纂専門委員会編『伊奈町史文書目録第四集－近代・現代－』
8	182	新井浩文	埼玉県地域史料保存活用連絡協議会編『埼玉県市町村歴史関係文献目録』
8	183	久慈千里	国文学研究資料館史料館編『史料館所蔵史料目録第64集山梨県下市町村役場目録(その1)』
8	185	山本幸俊	地方史研究協議会編『地方史事典』
9	112	小林和香	徳島県立文書館編『徳島県立文書館学術調査報告書第1集酒井家文書総合調査報告書』
9	113	鶴原美恵子	高野修著『日本の文書館』
9	114	富井康夫	文書館用語研究会編『文書館用語集』
9	116	伊藤 然	白石健二著『震災の記録－史料保存機関職員の震災記録－』
9	117	福田千鶴	笠谷和比古著『近世武家文書の研究』
9	118	伊藤 然	小川千代子編著『DJI エグゼクティブシリーズ2 文書館入門』
9	118	太田富康	京都府立総合資料館編『東寺百合文書にみる日本の中世』
9	120	原島陽一	国文学研究資料館史料館(山田哲好)編『史料叢書2 松代藩庁と記録－松代藩「日記繰出」－』
9	121	山田哲好	埼玉県地域史料保存活用連絡協議会編『地域文書館の設立に向けて5 地域史料の検索と活用』
9	123	龍野直樹	安藤正人著『草の根文書館の思想』・『記録史料学と現代』
10	88	新井浩文	中藤靖之著『古文書の補修と取り扱い』
10	89	太田富康	田中正弘著『近代日本と幕末外交文書編纂の研究』
10	90	長佐古美奈子	大石学監修、太田尚宏・中村大介編『古文書解読事典 文書館へ行こう』
10	91	針谷武志	群馬県立文書館編『ぐんまの古文書』
10	93	義根益美	広瀬順皓企画・構成『史料管理の達人』
10	95	坂本のぞみ	サリ・ブキャナン著『図書館・文書館における災害対策(シリーズ本を残す⑦)』
10	96	熊本史雄	歴史人類学会編『国民国家とアーカイブズ』
10	97	新倉敦子	三多摩郷土資料研究会編『地域資料入門(図書館員選書14)』
10	98	保坂裕興	伊奈町史編纂委員会編『伊奈町史 史料編三－結城家文書－』
10	99	桑尾光太郎	寺崎昌男・別府昭郎・中野実編著『大学史をつくる－沿革史編纂必携－』
11	55	堀内謙一	石上英一・加藤友康・山口英男編『古代文書論』
11	57	外山千里	国立国会図書館編『電子情報の保存－今われわれが考えるべきこと－(第9回資料保存シンポジウム講演集)』
11	58	柴田知彰	国文学研究資料館史料館(丑木幸男)編『史料叢書4 戸長役場の史料』
11	60	古瀬誠三	国立公文書館編『アーカイブス 創刊号～第5号』
11	61	石川 淳	雄山閣出版発行『今日の古文書学 第12巻 史料保存と文書館』
11	63	太田富康	小川千代子著『世界の文書館』
11	64	田中 聡	網野善彦著『古文書返却の旅－戦後史学史の一齣』
11	65	太田富康	平成11年度刊行都道府県公文書目録
12	94	小松徳年	地方史研究協議会編『地方史・地域史研究の展望』

12	95	水野 保	中野日徹著『近代史科学の射程－明治太政官文書研究序説－』
12	101	龍野直樹	杉山真紀子著『博物館の害虫防除ハンドブック』
12	102	瀧沢典枝	稲葉政満著『図書館・文書館における環境管理(シリーズ本を残す⑧)』
12	103	沼倉延幸	鈴江英一著『キリスト教解禁以前－切支丹禁制高札撤去の史料論－』
12	106	福島紀子	『新修 泉佐野市史 第5巻・史料編中世Ⅱ』
12	108	佐藤有紹	小松芳郎著『市史編纂から文書館へ』
12	111	毛塚万里	デジタルアーカイブ推進協議会『デジタルアーカイブ白書2001』
12	115	伊藤 然	新潟県立文書館編『古文書解説練習帳』第1集
12	115	太田富康	平成12年度刊行 都道府県公文書目録 『山口県文書館蔵行政文書目録』『長野県行政文書目録』
13	53	坂口貴弘	青山英幸著『記録から記録史料へ アーカイバル・コントロール論序説』
13	56	森本敬子	御厨 貴著『オーラル・ヒストリー 現代史のための口述記録』
13	58	藤吉圭二	佐藤博樹・石田浩・池田謙一編『社会調査の公開データ 2次分析への招待』
13	61	細井 守	徳島博物館研究会編『地域に生きる博物館』
13	63	伊藤 然	ロバート・B・ステイネット著『真珠湾の真実－ルーズベルト欺瞞の日々－』
14	78	伊藤 然	中馬清福著『密約外交』
14	79	伊藤 然	ジョン・H・アーノルド著『1冊でわかる 歴史』
14	80	岡田泰吉	荒井宏子・河野純一・高橋則英・吉田成著『写真資料の保存(シリーズ本を残す・10)』
14	82	新井浩文	エドワード・P・アドコック編『IFLA 図書館資料の予防的保存対策の原則(シリーズ本を残す・9)』
14	83	藤吉圭二	萩野昌弘編『文化遺産の社会学－ルーヴル美術館から原爆ドームまで－』
14	87	柚山俊夫	越佐歴史資料調査会編『地域と歩む史料保存活動』
14	91	清水邦俊	文書館問題研究会・横浜開港資料館編『歴史資料の保存と公開』
14	92	中谷正克	小川千代子・高橋実・大西愛編著『アーカイブ事典』
15	99	在間宣久	三木理史著『近・現代 交通史調査ハンドブック』
15	101	相京真澄	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会資料保存委員会編集『データにみる市町村合併と公文書保存』
15	103	相京真澄	小川千代子著『電子記録のアーカイビング』
15	105	相京真澄	油井宏子著『古文書はこんなに面白い』
16	59	飯島 渉	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会編『日本のアーカイブズ論』
16	62	藤吉圭二	原田正純・花田昌宣編『水保学研究序説』
16	65	西山 伸	全国大学史資料協議会編『日本の大学アーカイヴズ』
17	38	松崎裕子	企業史料協議会編纂『企業史料協議会20年史』
17	41	藤吉圭二	デジタルアーカイブ推進協議会『デジタルアーカイブ白書2005』
17	44	倉田綾子	記録管理学会・日本アーカイブズ学会共編『入門 アーカイブズの世界－記憶と記録を未来に－』
18	62	加藤 James	小川千代子・阿部純・大川内隆朗・鈴木香織・研谷紀夫／著『アーカイブを学ぶ－東京大学大学院講義録「アーカイブの世界」－』
18	65	宮田克成	高山正也編『公文書ルネッサンス－新たな公文書館像を求めて－』
18	68	藤吉圭二	木下敏之著『日本を二流 IT 国家にしないための十四ヵ条』
18	71	佐藤有紹	鈴江英一編著『開拓使文書の森へ－近代史料の発生・機能－』
19	68	藤 隆宏	秋田県公文書館／編『秋田県立文書群目録－第1集～第5集－』
19	71	堀井 靖枝	独立行政法人国立女性教育会館／編『女性アーカイブセンター機能に関する調査研究報告書－女性の歴史を今に生かし、未来へつなぐ－』
19	74	新井浩文	新潟県歴史資料保存活用連絡協議会古文書作業部会／編『古文書保存・整理の手引き』
19	77	島田克彦	小川千代子・小出いずみ／編『アーカイブへのアクセス－日本の経験、アメリカの経験－〈日米アーカイブセミナー2007の記録〉』
19	81	五島敏芳	京都大学基礎物理学研究所湯川記念館史料室委員会／編『京都大学基礎物理学研究所湯川記念館史料室の史料目録 YHAL Resources Hideki Yukawa (I)－(VIII)付 湯川秀樹全著作』
20	69	呉屋美奈子	粕谷一希・菊池光興・長尾真ほか著『別冊環⑮「図書館・アーカイブズとは何か」』
20	72	加藤聖文	仲本和彦著『研究者のためのアメリカ国立公文書館徹底ガイド』
20	75	木部 徹	園田直子編『紙と本の保存科学』
20	79	大石三紗子	松下正和・河野未央編『岩田書院ブックレットアーカイブ系⑫ 水損史料を救う 風水害からの歴史資料保全』
20	82	宮田克成	笹原亮二編『口頭伝承と文字文化－文学の民俗学 声の歴史学－』
21	48	櫻澤 誠	塵海研究会編『北垣国道日記「塵海」』
21	51	高江洲昌哉	安藤正人著 岩田書院ブックレットアーカイブ系⑬『アジアのアーカイブズと日本－記録を守り記憶を伝える－』
21	55	伊藤 康	松岡資明著『日本の公文書 開かれたアーカイブズが社会システムを支える』
21	58	長谷川伸	地方史研究協議会編『歴史資料の保存と地方史研究』

21	61	荒垣恒明	佐藤孝之編『古文書の語る地方史』
21	65	森本米紀	大林賢太郎著 岩田書院ブックレットアーカイブ系⑭『写真保存の実務』／全国歴史資料保存利用機関連絡協議会編 岩田書院ブックレットアーカイブ系⑮『劣化する戦後写真－写真の資料化と保存活用－』
21	69	藤吉圭二	赤井伸郎著『行政組織とガバナンスの経済学－官民分担と統治システムを考える』
22	91	新原淳弘	松岡資明著『アーカイブズが社会を変える 公文書管理法と情報革命』
22	94	藤吉圭二	岡本哲和著『アメリカ連邦政府における情報資源管理政策－その様態と変容－』
22	97	山崎一郎	瀬畑源著『公文書をつかう 公文書管理制度と歴史研究』
23	65	水口政次	公益財団法人渋沢栄一記念財団実業史研究情報センター編『世界のビジネス・アーカイブズ 企業価値の源泉』
23	67	多和田雅保	奥村弘著『大震災と歴史資料保存－阪神・淡路大震災から東日本大震災へ－』
23	69	栗生春実	吉越昭久・片平博文編『京都の歴史災害』
23	71	藤吉圭二	チャールズ・O・ロソッティ著『巨大政府機関の変貌 初の民間出身長官が挑んだアメリカ税務行政改革』
24	60	清水善仁	平井孝典著『公文書管理と情報アクセス－国立大学法人小樽商科大学の「緑丘アーカイブズ」－』
24	62	椿田卓士	菅真城著『大学アーカイブズの世界』
24	64	橋本唯子	滋賀県県政史料室編『公文書でたどる近代滋賀のあゆみ』
24	66	山脇智佳	地方史研究協議会編『地方史活動の再構築－新たな実践のかたち－』
24	68	清水ふさ子	企業史料協議会編『企業アーカイブズの理論と実践』
25	51	新井浩文	山本幸俊著『近世の村落と地域史料保存』
25	53	吉原大志	奥村弘編『歴史文化を大災害から守る－地域歴史資料学の構築－』
25	55	坂口貴弘	国文学研究資料館編『アーカイブズの構造認識と編成記述』
25	57	高見勇太	大西愛編『アーカイブ・ボランティア－国内の被災地で、そして海外の難民資料を－』
25	59	櫻井和人	仙台市博物館編『仙台市博物館の資料レスキュー活動－東日本大震災後の取り組み－』

資料ふぁいる

2	120		日本学術会議「公文書館の拡充と公文書等の保存利用体制の確立について（要望）」
3	120		国立公文書館「公文書の保存・管理等に関する研究会報告書」
4	112		アーキビスト養成制度の実現に向けて－全史料協専門職問題特別委員会報告書－
4	117		公文書館における専門職員の養成及び資格制度に関する研究会報告書（国立公文書館）
5	103		日本学術会議第1部報告「歴史資料の収集・保存と情報化について」－国立歴史情報資源研究センター（仮称）の構想－
5	109		アーキビストの国際倫理綱領案（ICA/SPA）
6	102		アジア歴史資料センターの設立について アジア歴史資料センター（仮称）設立検討のための有識者会議
6	106		国際文書館評議会記述基準特別委員会編 国際標準記録史料記述：一般原則
7	123		『文書館の災害対策の手引き（初版）』について
7	130		アーキビスト制度への提言－第二次専門職問題特別委員会報告書－
8	209		全国歴史資料保存利用機関連絡協議会
9	127		情報公開法要綱案 行政改革委員会行政情報公開部会「行政情報公開部会報告」（平成8年11月1日）より
10	109		公文書館専門職員養成課程 国立公文書館
10	118		行政機関の保有する情報の公開に関する法律（平成11年5月7日成立）
13	69	新井浩文	国立公文書館法（平成11年6月23日法律第79号）・国立公文書館法の一部を改正する法律（平成11年12月22日法律第161号）
13	75	アメリカ・アーキビスト協会／保坂裕興訳	市町村合併時における公文書等の保存に関するこれまでの動向
15	106	中川浩宣	アーカイブズ学における大学院課程の指針
16	66	木村立彦	市町村合併に伴う公文書等保存のためのガイドライン 新潟県歴史資料保存活用連絡協議会
17	62		埼玉県における自治体の文書保存の取り組み状況について
18	73		全史料協第31回（福井）大会研修会の記録
19	84		全史料協第33回（茨城）大会・研修会の記録
20	86		全史料協第34回（奈良）大会研修会の記録
			全史料協第35回（福島）大会研修会の記録

21	73	調査・研究委員会	平成21年度全史料協調査・研究委員会 「地方自治体の重要な公文書等の取扱いに関するアンケート報告」
22	100		東日本大震災における機関会員の安否確認情報
23	75		「公文書館機能の自己点検・評価指標」調査結果
24	71		公文書館専門職員実態アンケート調査集計結果〈最終版〉
25	62		記録と史料 総目次（第1号～第25号）

保存を考える

3	119	櫛笥節男	宮内庁書陵部の保存箱
5	78	坂本 勇	史料保存、その理想と現実－混沌とする大量脱酸技術－
5	110	廣瀬 睦	被災史料の救助

特別講演

10	54	マイケル・ローパー／ 森本祥子訳	文書館：世界の状況 第25回全史料協新潟大会特別講演
----	----	---------------------	----------------------------

特別寄稿

25	23	松岡資明	アーカイブズの最新動向
----	----	------	-------------

国際会議

14	29	柴田知彰	第36回 ICA 円卓会議の報告要旨とその背景－解題に代えて－
14	34	マリアンヌ・シャビン	フランスのメディアにおけるアーカイブという言葉の使用に関する比較
14	37	アハメド・アデム	行政当局者のアーカイブに対する認識の一例：エチオピア
14	39	アナ・マリア・セクビ ニ・ド・ダロ	前抑圧体制の犠牲者による要求
14	40	モンセフ・ファクファク	アーカイブおよび記録への意識を高める方法：意思決定者の間での展開
14	42	エリザベス・ヤケル	インターネット・ベースのアーカイブ検索ツールがアーカイブの利用および利用者に与える影響
15	54	藤 隆宏	2002年 EASTICA セミナー「地域のアーカイブズの直面する法的問題と課題」と ICA 法制委員会報告について
15	58	ジョゼフ・ツウィッカー／ 藤 隆宏要約	電子的環境下における真正性についての問題
15	63	Josef Zwicker	Some Problems of Authenticity in an Electronic Environment
17	23	安藤正人	第2回アジア太平洋アーカイブズ学教育国際会議（2nd APCAE） 「電子時代におけるアーカイブズ学研究とアーカイブズ学教育」
17	27	松崎裕子	会議概要 専門セミナー参加記
17	28	清水善仁	公開講演会「記録の未来－電子時代におけるアーカイブズ学を考える－」に参加して
17	29	塚田治郎	第2回アジア太平洋アーカイブズ学教育国際会議を傍聴して垣間見た世界のアーカイブズ学界の潮流
17	30	高埜利彦	総括－わが国のアーカイブズ学を考える